

## 第2期宮城県教育振興基本計画第2次アクションプラン（案）について

### 1 策定の趣旨

- 第2期宮城県教育振興基本計画（以下「第2期計画」という。）に基づいて実施する具体的な事業の内容や期間，それらの実施により達成を目指す成果の数値目標等を示すため，平成29年3月に第1次アクションプラン（計画期間：平成29年度～令和2年度）を策定した。
- 今回，第1次アクションプランの計画期間終了に伴い，その検証を行うとともに，知事部局において策定する「新・宮城の将来ビジョン実施計画（前期：令和3年度～令和6年度）」との整合も踏まえ，令和3年度の新たな事業などを反映した第2次アクションプラン（計画期間：令和3年度～令和5年度）を策定するもの。

### 2 第2次アクションプランの内容

- 第1次アクションプランにおける主な取組の概要，成果・課題や目標指標の推移等を示した「第1次アクションプランの検証」を新たに掲載。
- 第2期計画における取組の方向性に基づき，3年間の「主な取組内容」及び年度ごとの「目標値」を掲載。
- 基本方向ごとに，「主な事業の一覧表」を掲載するほか，令和3年度に特に注力する事業については，それぞれの事業の概要を示す「事業イメージ図」を掲載。

### 3 第2次アクションプラン掲載事業

(1) 掲載事業数 298事業（うち新規事業 11事業）

※第1次アクションプラン【令和2年度版】掲載事業数 330事業

※再掲事業を除く

<内訳>

- 「新・宮城の将来ビジョン実施計画」掲載事業 119事業
 

{	① 新・宮城の将来ビジョン推進事業	102事業
	② 復興・サポート事業	25事業
	③ 共通事業（①かつ②）	8事業
- 「第2次アクションプラン」のみ掲載事業 179事業

(2) 令和3年度当初予算額 49,535,493千円（再掲事業除く）

※ 令和2年度当初予算額 56,687,390千円（再掲事業除く）

（前年度比較：△7,151,897千円）

第2次アクションプラン（案）新規事業一覧（11事業）

【凡例】  
 ☆：令和3年度 特に注力する事業  
 <新・宮城の将来ビジョン実施計画>  
 ◎：新・宮城の将来ビジョン推進事業  
 [復サ]：復興・サポート事業

掲載箇所	区分	事業名	事業概要	R3当初 予算額 (千円)	担当課室
<b>基本方向3 確かな学力の育成</b>					
① P. 35	05 ☆ ◎	個別最適な学びに関する モデル事業 <b>新規</b>	子供たちの多様化やSociety5.0の時代の到来を踏まえ、児童生徒一人一人の能力や適性に応じた「個別最適な学び」と社会とつながる「協働的な学び」の実現に向け、ICTを効果的に活用した指導の在り方を探るためのモデル校を設置し、大学等と連携を図りながら実践的な研究に取り組み、その成果の普及を図る。 <令和3年度の主な取組> ・実践モデル校の指定、大学との連携協定の締結 ・研究テーマの設定、研究計画の策定 ・授業参観等の視察の受入れ	4,492	義務教育課
② P. 36	04 ☆ ◎	世界に発信する高校生育 成事業 <b>新規</b>	ICTを活用した海外ネイティブ講師や高校生とのオンライン交流により、高校生が実際に英語を使う体験を通して、世界に自分の考えを発信できる英語力を育成する。 <令和3年度の主な取組> ・高校1年生（240人×2校）がICTを活用し、海外にいるネイティブ講師と1対1の英語コミュニケーション実践 ・オンラインでの海外高校生との交流活動 ・オンライン交流活動の県内・海外のネットワークを構築 ・研究指定校における、発信力を伸ばすための指導法の工夫・パフォーマンステストの研究	4,444	高校教育課
③ P. 37	02 ☆ ◎	教育ICT活用促進事業 <b>新規</b>	県立学校のICT活用を支援するとともに、教員の活用能力の向上を図るため、「ICT支援員」を派遣する。また、私有端末の教育情報ネットワーク接続に関する検証を行う。 <令和3年度の主な取組> ・ICT支援員の配置・派遣（3名） ・モデル校における私有端末の活用検証	36,000	教育企画室
⑤ P. 39	09 ◎	みんなで広げる「木育」 活動推進事業 <b>新規</b>	幼少期から木とふれあい、学ぶ取組である「木育」活動を支援することにより、木材を使う意義・メリットを広め、森林・林業・木材産業に対する県民理解の醸成を図る。 <令和3年度の主な取組> ・木育活動ネットワーク構築の支援 ・木育活動の支援	2,300	林業振興課
<b>基本方向5 多様なニーズに対応したきめ細かな教育の推進</b>					
①② P. 46	25 ◎	多様な子どもの安心子育て 支援事業 <b>新規</b>	障害児の早期発見・早期療育に向けた支援体制の整備を図る。 <令和3年度の主な取組> ・障害児通所支援事業所等における医療的ケア児の受入促進のため、看護職員の確保・育成、定着支援を実施する。 ・発達障害児支援体制の整備を促進するため、専門職の確保・育成等への支援を実施する。	12,000	精神保健推進室
<b>基本方向7 命を守る力と共に支え合う心の育成</b>					
①② P. 58	04 ☆ ◎	地域連携型学校防災体制 等構築推進事業 <b>新規</b>	様々な災害から児童生徒等の命を守るため、地域と連携した学校防災の取組を支援する相談窓口の設置や学校防災アドバイザーの紹介・派遣を行うとともに、実践研究協力校において、地域や関係機関と連携したマニュアルの見直しや避難訓練等の実践研究を行い、成果をフォーラム等で広く普及することで、地域の災害特性を踏まえた地域ぐるみの学校防災を推進する。 <令和3年度の主な取組> ・相談窓口の設置、学校防災アドバイザー（大学等専門家）の紹介・派遣による助言 ・地域ぐるみの学校防災体制等構築に係る実践研究（実践研究協力校4校、2年間継続した実践研究） ・安全教育総合推進ネットワーク会議の開催 ・未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラムの開催	10,000	保健体育安全課
<b>基本方向8 安心して楽しく学べる教育環境づくり</b>					
⑥ P. 70	13	私立高校不登校生徒支援 費補助事業 <b>新規</b>	私立高等学校の不登校支援に従事する専門職や教員の補助員等の経費や別室登校の設置運用に係る経費を補助し、支援体制を整備する。	24,800	私学・公益法人課
⑥ P. 71	18 [復サ]	私立小中学校授業料軽減 特別補助事業 <b>新規</b>	東日本大震災に被災して経済的理由等により修学が困難となった世帯に対し、授業料減免を行った私立小中学校に対する補助を行う。	20,864	私学・公益法人課

## 第2次アクションプラン（案）新規事業一覧（11事業）

**【凡例】**

- ☆ : 令和3年度 特に注力する事業
- <新・宮城の将来ビジョン実施計画>
- ◎ : 新・宮城の将来ビジョン推進事業
- [復サ]: 復興・サポート事業

掲載箇所	区分	事業名	事業概要	R3当初 予算額 (千円)	担当課室
<b>基本方向 9 家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり</b>					
② P. 77	02 ☆ ◎	小中学校コミュニティ・ スクール推進事業 【コミュニティ・スクール 推進事業】  新規	「コミュニティ・スクール推進協議会」を主催し、各市町村の域内全ての学校において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を核とした学校・家庭・地域の連携・協働体制の導入・拡充を検討し、持続可能な推進体制の構築を図る。 <令和3年度の主な取組> ・コミュニティ・スクール推進協議会の開催	500	義務教育課
② P. 77	03 ☆ ◎	地域と連携した高等学校 魅力化事業 【コミュニティ・スクール 推進事業】  新規	学校運営協議会などによる地域と学校の連携により、両者が協働して、これからの地域を担うために必要な資質・能力の育成を図るため、地域の教育資源を十分に活用した実践的で魅力ある教育活動、及びその取組を学校評価により改善する体制づくりを支援することで、社会に開かれた教育課程の実現を図り、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに資する。 <令和3年度の主な取組> ・学校運営協議会パイロット校事業 ・学校評価を活用したカリキュラムマネジメント支援 ・地域とともにつくる魅力ある県立高等学校支援事業	12,666	高校教育課
<b>基本方向 10 生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進</b>					
③ P. 85	06 ◎	美術館リニューアル整備 事業  新規	宮城県美術館の施設・設備の老朽化、新たな社会的要請や環境変化への対応のため、ハード・ソフトの両面でリニューアルを進める。 <令和3年度の主な取組> ・美術館リニューアル関連事業 ・美術館の所蔵作品のデータベース化 ・既存の教育普及事業のアーカイブ化と映像コンテンツ制作	56,022	生涯学習課

第2期宮城県教育振興基本計画第2次アクションプラン「目標指標等」一覧

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
1	豊かな人間性と社会性の育成	「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	目標値 実績値	90.6% (R1年度)	92.0%	92.0%	92.0%	義務教育課
		「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	目標値 実績値	81.3% (R1年度)	83.0%	83.0%	83.0%	義務教育課
		「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	目標値 実績値	95.3% (R1年度)	95.0%	95.0%	95.0%	義務教育課
		「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	目標値 実績値	93.8% (R1年度)	94.0%	94.0%	94.0%	義務教育課
		「自分には良いところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	目標値 実績値	78.8% (R1年度)	83.0%	83.0%	83.0%	義務教育課
		「自分には良いところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	目標値 実績値	69.8% (R1年度)	76.0%	76.0%	76.0%	義務教育課
		体験学習(農林漁業)に取り組む小学校の割合(%)	目標値 実績値	88.4% (R1年度)	88.6%	88.8%	89.0%	義務教育課
		不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(小学生)(%)	目標値 実績値	68.5% (R1年度)	71.0%	74.0%	77.0%	義務教育課
		不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(中学生)(%)	目標値 実績値	72.6% (R1年度)	74.0%	76.0%	78.0%	義務教育課
		「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)【再掲】	目標値 実績値	83.0% (R1年度)	88.0%	88.0%	88.0%	義務教育課
		「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)【再掲】	目標値 実績値	79.4% (R1年度)	82.0%	82.0%	82.0%	義務教育課

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
2	健やかな体の育成	児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生(男))(ポイント)	目標値 実績値	-0.36ポイント (R1年度)	0.02ポイント	0.06ポイント	0.08ポイント	保健体育安全課
		児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生(女))(ポイント)	目標値 実績値	-0.33ポイント (R1年度)	0.01ポイント	0.04ポイント	0.08ポイント	保健体育安全課
		児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生(男))(ポイント)	目標値 実績値	0.08ポイント (R1年度)	0.08ポイント	0.09ポイント	0.09ポイント	保健体育安全課
		児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生(女))(ポイント)	目標値 実績値	-1.01ポイント (R1年度)	0.01ポイント	0.06ポイント	0.08ポイント	保健体育安全課
		学校給食の地場産農林水産畜産物の利用品目数の割合(%)	目標値 実績値	40.1% (R2年度)	40.5%	41.0%	41.5%	保健体育安全課

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
3	確かな学力の育成	「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	目標値 実績値	88.4% (R1年度)	90.0%	90.0%	90.0%	義務教育課
		「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	目標値 実績値	88.9% (R1年度)	90.0%	90.0%	90.0%	義務教育課
		「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(高校2年生)(%)	目標値 実績値	57.5% (R2年度)	58.0%	58.5%	59.0%	高校教育課
		「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	目標値 実績値	73.2% (R1年度)	74.0%	75.0%	76.0%	義務教育課
		「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	目標値 実績値	73.2% (R1年度)	74.0%	75.0%	76.0%	義務教育課
		全国平均正答率とのかい離(小学6年生)(ポイント)	目標値 実績値	-3.0ポイント (R1年度)	-2.2ポイント	-1.4ポイント	-0.7ポイント	義務教育課
		全国平均正答率とのかい離(中学3年生)(ポイント)	目標値 実績値	-3.5ポイント (R1年度)	-2.6ポイント	-1.7ポイント	-0.8ポイント	義務教育課
		児童生徒の家庭等での学習時間(小学6年生:30分以上の児童の割合)(%)	目標値 実績値	94.0% (R1年度)	94.2%	94.4%	94.6%	義務教育課
		児童生徒の家庭等での学習時間(中学3年生:1時間以上の生徒の割合)(%)	目標値 実績値	64.2% (R1年度)	65.7%	67.2%	68.7%	義務教育課
		児童生徒の家庭等での学習時間(高校2年生:2時間以上の生徒の割合)(%)	目標値 実績値	19.2% (R2年度)	20.0%	20.0%	20.0%	高校教育課
		英検相当級を取得している生徒の割合(中学3年生(3級程度以上))(%)	目標値 実績値	38.3% (R1年度)	50.0%	50.0%	50.0%	義務教育課
		英検相当級を取得している生徒の割合(高校3年生(準2級程度以上))(%)	目標値 実績値	36.2% (R1年度)	50.0%	50.0%	50.0%	高校教育課
		授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合(%)	目標値 実績値	66.5% (R1年度)	68.0%	69.5%	71.0%	教育企画室

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
4	幼児教育の充実	平日、子供と触れ合う時間(食事と入浴を除く)について、1時間以上と答えた保護者の割合(%)	目標値 実績値	91.6% (R1年度)	90%以上	90%以上	90%以上	義務教育課
		保幼小接続のための「スタートカリキュラム」を作成している市町村立小学校の割合(%)	目標値 実績値	17.6% (R2年度)	20.0%	30.0%	40.0%	義務教育課

第2期宮城県教育振興基本計画第2次アクションプラン「目標指標等」一覧

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
5	多様なニーズに対応したきめ細かな教育の推進	小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合（個別的教育支援計画）（特別支援学級）（％）	目標値 実績値	89.3% (R2年度)	95.0%	100.0%	100.0%	特別支援教育課
		小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合（個別的教育支援計画）（通級指導教室）（％）	目標値 実績値	94.1% (R2年度)	100.0%	100.0%	100.0%	特別支援教育課
		小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合（個別の指導計画）（特別支援学級）（％）	目標値 実績値	83.6% (R2年度)	88.0%	91.0%	94.0%	特別支援教育課
		小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合（個別の指導計画）（通級指導教室）（％）	目標値 実績値	77.3% (R2年度)	82.0%	86.0%	90.0%	特別支援教育課
		特別支援学校が主催する研修会への中学校、高等学校教員の受講者数（人）	目標値 実績値	214人 (R1年度)	220人	220人	220人	特別支援教育課
		特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合（％）	目標値 実績値	35.3% (R1年度)	36.0%	36.0%	36.0%	特別支援教育課

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
6	郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成	「地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合（小学6年生）（％）	目標値 実績値	75.0% (R1年度)	70.0%	72.5%	75.0%	義務教育課
		「地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合（中学3年生）（％）	目標値 実績値	53.1% (R1年度)	50.0%	52.0%	54.0%	義務教育課
		「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と答えた児童生徒の割合（小学5年生）（％）	目標値 実績値	33.2% (R2年度)	34.0%	35.0%	36.0%	義務教育課
		「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と答えた児童生徒の割合（中学1年生）（％）	目標値 実績値	77.4% (R2年度)	78.0%	79.0%	80.0%	義務教育課
		ボランティア活動を実施している公立高等学校の割合（％）	目標値 実績値	89.6% (R1年度)	90.1%	90.6%	91.1%	高校教育課
		大学等への現役進学達成率の全国平均値とのかい離（ポイント）	目標値 実績値	0.2ポイント (R1年度)	1.2ポイント	1.3ポイント	1.4ポイント	高校教育課
		新規高卒者の就職決定率の全国平均値とのかい離（ポイント）	目標値 実績値	1.1ポイント (R1年度)	1.0ポイント	1.0ポイント	1.0ポイント	高校教育課
		県内の高等学校卒業生が県内に就職した割合（％）	目標値 実績値	79.6% (R1年度)	80.1%	80.6%	81.1%	高校教育課
		インターンシップやアカデミックインターンシップ等に取り組んでいる県立高等学校の割合（％）	目標値 実績値	72.7% (R1年度)	75.5%	77.0%	78.5%	高校教育課

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
7	命を守る力と共に支え合う心の育成	地域住民と連携した避難訓練を実施している学校の割合（％）	目標値 実績値	47.8% (R1年度)	50.0%	55.0%	60.0%	保健体育安全課
		地域学校安全委員会等の連絡会議を設置している学校の割合（％）	目標値 実績値	95.1% (R1年度)	98.0%	99.0%	100.0%	保健体育安全課

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
8	安心して楽しく学べる教育環境づくり	「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合（小学5年生）（％）	目標値 実績値	83.0% (R1年度)	88.0%	88.0%	88.0%	義務教育課
		「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合（中学1年生）（％）	目標値 実績値	79.4% (R1年度)	82.0%	82.0%	82.0%	義務教育課
		保護者等に対して学校公開を実施している学校（小・中）の割合（小学校）（％）	目標値 実績値	77.2% (R1年度)	78.0%	79.0%	80.0%	義務教育課
		保護者等に対して学校公開を実施している学校（小・中）の割合（中学校）（％）	目標値 実績値	56.7% (R1年度)	58.0%	59.0%	60.0%	義務教育課
		学校関係者評価を広く公表している県立高等学校の割合（％）	目標値 実績値	77.9% (H30年度)	80.0%	82.0%	84.0%	高校教育課
		学校外の教育資源を活用している公立高等学校の割合（％）	目標値 実績値	87.2% (R1年度)	88.0%	89.0%	90.0%	高校教育課

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
9	家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり	朝食を毎日食べる児童の割合（小学6年生）（％）	目標値 実績値	96.5% (R1年度)	97.0%	97.0%	97.0%	教育企画室
		平日、午後10時より前に就寝する児童の割合（小学5年生）（％）	目標値 実績値	67.5% (R1年度)	68.0%	68.0%	68.0%	教育企画室
		平日、午前6時30分より前に起床する児童の割合（小学5年生）（％）	目標値 実績値	61.6% (R1年度)	63.0%	63.0%	63.0%	教育企画室
		「家庭教育支援チーム」の活動件数（件）	目標値 実績値	79件 (R1年度)	87件	91件	96件	生涯学習課
		市町村における子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーの活動者数（人）	目標値 実績値	300人 (R1年度)	300人	300人	300人	生涯学習課
		地域学校協働本部がカバーする学校の割合（％）	目標値 実績値	54.3% (R2年度)	55.0%	60.0%	65.0%	生涯学習課
		「みやぎ教育応援団」の活用件数（件）	目標値 実績値	159件 (R2年度)	200件	250件	300件	生涯学習課

基本方向	基本方向名	目標指標等	区分	当初	R3年度	R4年度	R5年度	担当課室
10	生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進	生涯学習プラットフォーム閲覧数（セッション数）（件）	目標値 実績値	—	12,000件	24,000件	36,000件	生涯学習課
		市町村社会教育講座の参加者数（人口千人当たり）（人）	目標値 実績値	744人 (H30年度)	740人	746人	750人	生涯学習課
		みやぎ県民文化創造の祭典参加者の意識の変化（文化芸術が身近な所で様々な分野に活用され地域の活性化に役立っていると思う人の割合）（％）	目標値 実績値	27.5% (R2年度)	30.0%	40.0%	50.0%	消費生活・文化課
		みやぎ県民文化創造の祭典参加者の意識の変化（不安を抱える方々の心のケアのために文化芸術の果たす役割が大切だと思う人の割合）（％）	目標値 実績値	66.5% (R2年度)	70.0%	73.5%	77.0%	消費生活・文化課
		総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率（％）	目標値 実績値	77.1% (R2年度)	82.9%	88.5%	94.3%	スポーツ振興課

## 県有体育施設のネーミングライツについて

県有体育施設のネーミングライツについて，宮城県教育委員会広告審査委員会の審査を経て，下記のとおり決定した。

### [宮城県総合運動公園総合体育館の契約更新]

	更新内容	現在の契約内容
スポンサー 企業名	セキスイハイム東北株式会社	セキスイハイム東北株式会社
愛称	セキスイハイムスーパーアリーナ	セキスイハイムスーパーアリーナ
金額(税別)	10,000千円/年	10,000千円/年
契約期間	【5期目】 令和3年4月1日～令和6年3月31日 (3年間)	【4期目】 平成30年4月1日～令和3年3月31日 (3年間)
経緯	優先交渉権がある現契約スポンサー企業から更新の意向が示されたことを受け，企業の妥当性，愛称の妥当性，応募内容（金額，期間）等を総合的に審査し，決定した。	